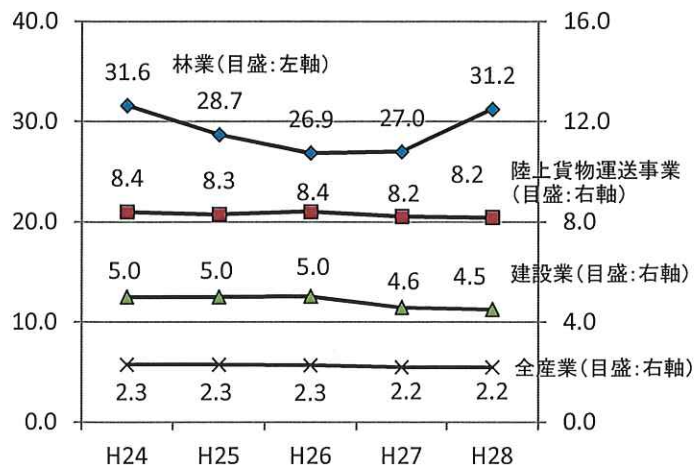


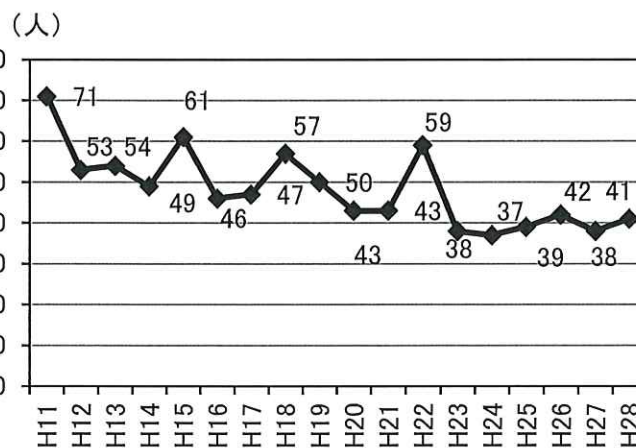
# 伐木等の作業における労働災害発生状況

林業における死傷年千人率は、全産業と比べ高い。



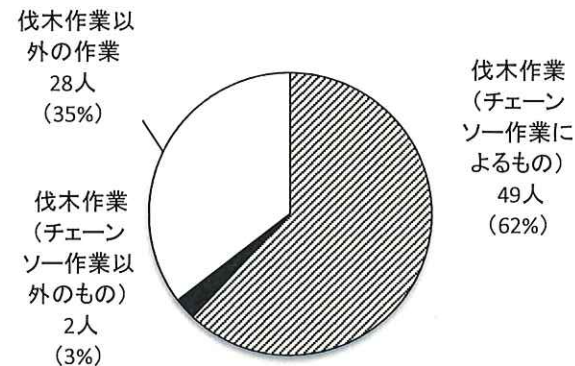
《図1》林業における死傷年千人率の推移

林業における労働災害は長期的には減少傾向にあるものの、平成23年以降の死亡者数は40人前後で推移。



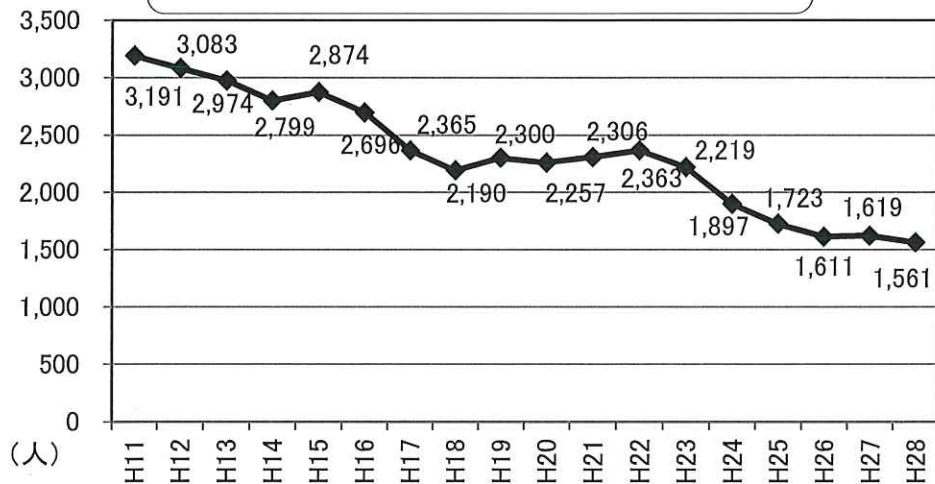
《図2》林業における死亡者数の推移

伐木作業（チェーンソー作業によるもの）中に発生した死亡災害は、全体の約6割。



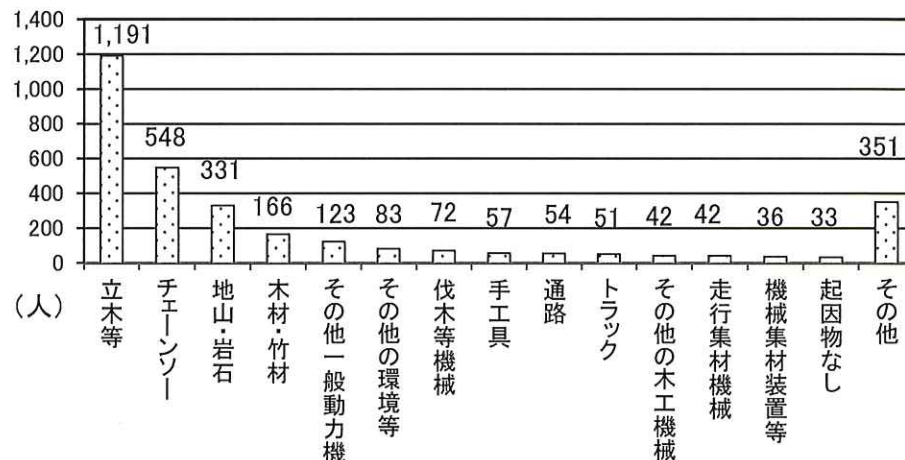
《図3》林業における作業の種類別死亡者数(平成27-28年発生分79人の内訳)

林業における労働災害による休業4日以上の死傷者数は、長期的には減少。



《図4》林業における休業4日以上の死傷者数の推移

林業における労働災害による休業4日以上の死傷者数を起因物別で分析すると、立木等が約3割程度、チェーンソーが約2割程度を占めている。



《図5》林業における起因物別休業4日以上の死傷者数(平成27-28年発生分3,180人の内訳)